

陽春の瑞龍町・里野宮町・茅根町ハイキングコース

距離：約5km 所要時間：2時間30分

今回は、陽春の瑞龍町・里野宮町・茅根町の散策に出発します。常陸国風土記には「神（立速日男命）が天から松沢の松の大樹に降りられた」と書かれています（松沢とは現在の瑞龍町と言われています）。さらに、里野宮町の旧道沿いにある薩都神社にも立速日男命が祭られており、風土記の世界にいざないます。また、瑞龍町にある旌桜寺跡には「旗桜」という花の芯に旗が立っているように見える桜があります。このように歴史・自然あふれるこの地を散策してみたいはいかがでしょうか。

6 旌桜寺跡



源頼義・義家親子が奥州征伐の帰りに休息を取った際、桜の旗竿を挿したところに根付いたという伝説の桜がある
※写真は平成26年4月撮影

5 瑞桜



県立常陸太田特別支援学校の校庭の中央に咲くソメイヨシノで地域の方に「瑞桜」と呼ばれ親しまれている
※写真は平成26年4月撮影

見学方法

平日 午後3時30分以降
※事務室に声をかけてください
休日 自由見学

4 道標



瑞竜十字バス停近くにある高さ約1.8mの花崗岩で作られた道標。「從此右棚倉・左御山道」と書かれている

1 石仏群



如意輪観音や不動明王と思われる石仏群が地域の方の手によって祭られている

2 佐都公民館跡

2 佐都公民館跡



樹齢40～50年の桜が十数本あり、満開の桜は圧巻。公民館移転後は、地域の方の憩いの場として利用されている



道で出会った猫

3 薩都神社



常陸国風土記に書かれている歴史ある神社で、賀毘礼の峰の里宮として信仰されていた



ヤブツバキ

